



北海道観光振興機構 広報誌

HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION

HTOPRESS

Vol. 28



撮影場所：北欧の風道の駅とうべつ

北海道観光PR
キャラクター
キュンちゃん

Contents

02 特集

北海道の観光統計
データサイトの公開について

04 民族共生象徴空間

Info.

05 世界で日本で北海道観光のプロモーション

HTOレポート

11 HTOリサーチ

12 キュンちゃんの小部屋
北海道観光振興機構のお知らせ



旅行実態

北海道、訪日客を対象に、外国人観光客の属性や訪問先がわかります。

メニュー

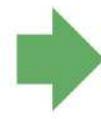
○ 人口推移

人口推移（台数）

年次	人口（台数）
2008	1,151
2009	1,207
2010	1,307
2011	1,354
2012	1,404
2013	1,454
2014	1,504
2015	1,554
2016	1,604
2017	1,654
2018	1,704
2019	1,754

グラフによる経年比較が可能

全データをDL 真栄データDL データをPDF



旅行実態

北海道、訪日客を対象に、外国人観光客の属性や訪問先がわかります。

メニュー

○ 人口推移

人口推移（台数）

年次	人口（台数）
2008	1,151
2009	1,207
2010	1,307
2011	1,354
2012	1,404
2013	1,454
2014	1,504
2015	1,554
2016	1,604
2017	1,654
2018	1,704
2019	1,754

データのダウンロードも可能

全データをDL 真栄データDL データをPDF

特集

北海道の観光統計データサイトの公開について

はじめに

令和2年4月15日に改正された観光庁「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」にあるとおり、観光地域づくり法人の役割の1つとして、各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立が求められています。

北海道観光振興機構（以下、当機構という。）では、上記を踏まえ、マーケティング機能の強化を図っているところであり、その一環として、各種オーバー

ンデータや当機構が実施する事業の調査結果等を集約し分析するための「北海道の観光統計データサイト」（以下、統計データサイトという。）を構築し、2021年1月に公表をする予定です。

この統計データサイトは、当機構が自ら活用するだけではなく、道内の自治体、観光地域づくり法人（DMO）、その他観光関連団体等の観光施策や宿泊施設、飲食店、土産品店等の集客アプローチ、学校機関等の研究など幅広く活用していただくことを想定して、作成いたしました。

また、今後も格納データの追加・更新を行い、内容を充実させていく想定です。本編では、この統計データサイトについて簡単に紹介させていただきますので、是非ご活用いただければと存じます。

統計データサイトの概要、構成

本統計データサイトは、日本政府観光局（JNTO）の「日本の観光統計データ」を参考に、BIツールであるTableauを活用して、各種オープンデータや当機構が実施する事業の調査結果等を表やグラフを用いて視覚

■ 揭載データ

■ 市場別情報

基礎情報

- 人口
- 経済
- その他

詳細情報

- 旅行実態
- 消費実態
- 体験実態・意向

- 情報収集
- 各種手配方法
- 道内旅行実態

■ 来道者数

- 輸送機関別 来道者数
- 航空機による来道者数

■ 満足度調査

- 来道者属性
- 旅行計画時の行動
- 旅行中の行動

- 道内観光における消費動向
- 道内旅行への期待と満足度

■ 観光経済波及効果

- 道内消費額
- 道内総観光消費額
- 観光による経済波及効果

化しています。年別や国・地域別等のフィルタを設定し、見たい情報を即座に切り替え可能な仕様としています。サイトの構成は、「トップページ」の「利用を開始する」を選択すると「掲載データ」のページに移動し、各データの閲覧が可能となります。また、掲載データやその他外部調達データ等を活用し分析内容をまとめた「分析レポート」を公開いたします。その他、「よくあるご質問」としてFAQの掲載や「お問い合わせフォーム」を作成しています。スマートフォンでの閲覧にも対応したレスポンシブデザインを取り入れ、スマートフォンやタブレットの閲覧にも対応をしています。

掲載データのダウンロードについて

掲載データはCSVやPDFでダウンロードが可能です。データ分析や各種施策の検討にご活用ください。

分析レポートについて

掲載データや本事業で作成するモバイル空間統計データを使った分析レポートについては、本事業でDMPを構築した上で、DMPの活用示唆となるような内容を取りまとめる認識しておりますので、サイト公開後、事業完了までに掲載をする想定をしております。掲載例としては、掲載データ1.市場別情報を基に、昨年10月に公表した「訪日外国人来道者の増加に向けた市場分析レポート」を、対象国・地域を4から11に拡大し、分析レポートとしてまとめています。

※上記レポート含め一部会員様向けに公開するレポートがございます

おわりに

今年度は一部データの格納とサイトの構築を行いますが、今後データの追加や更新を行い、さらに利便性の高いサイトにしていく予定です。

(注)統計データサイトに掲載する内容等は変更になる場合がございます

■ サイト公開時期

2021年1月公開

■ サイト閲覧方法

下記2つのウェブサイトから「北海道の観光統計データサイト」をご覧いただくことができます。

①当機構観光公式サイト「GoodDay北海道」→「北海道観光振興機構について」のページに掲載

②当機構会員専用サイト「観光北海道Web」に掲載

掲載データについて

1. 市場別情報

各種オープンデータや機構調査データから各国・地域の情報を「基礎情報」と「詳細情報」として整理し、掲載しております。

2. 来道者数

当機構が各交通機関に依頼し、集計している月別の輸送機関別来道者数を掲載。※会員様向け公開

3. 満足度調査

道内旅行者、国内(道外)旅行者、外国人旅行者の属性、動向、消費、満足度等のアンケート調査結果を掲載。

4. 観光経済波及効果

満足度調査の消費データを基に推計した北海道内の観光経済波及効果を掲載しております。

ウポポイが開業5カ月を迎えました



ボロト湖を背景にした輪踊りの様子

文化体験プログラムを充実

ウポポイ(民族共生象徴空間)の開業から12月12日で5カ月を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、入場制限やプログラムの変更がある中、18万4千人のお客様にお越しいただきました。「歌や踊りがすばらしかった」「アイヌ文化についてもっと知りたくなった」などの感想が寄せられ、職員の励みになっています。

現在、感染対策を徹底しつつ、お客様のニーズが高い文化体験プログラムの充実を図っています。11月から木彫(木製スマホスタンドにアイヌ文様を施します)、刺繍(布製のあづま袋にアイヌ文様を施します)、アイヌ料理の調理、伝統楽器ムックリの演奏・製作な

どのプログラムがスタートしました。子どもから大人まで幅広い参加があり、楽しく取り組んでいます。

期間限定プログラムとして来年1月17日、2月21日、3月21日には鹿の鳴き声に似た音を出す狩猟用の笛「鹿笛」づくりを開催します(予約制)。詳細はウポポイウェブサイトの「トピックス」(<https://ainu-upopoy.jp/topics/>)をご確認ください。

国立アイヌ民族博物館では、テーマ展「収蔵資料展 イコロ～資料にみる素材と技～」を開催中です。詳細は博物館ウェブサイト(<https://nam.go.jp/>)の「トピックス」をご確認ください。

教育旅行が好評

教育旅行によるこれまでの入場者

は、道内の小・中学校、道外の高校を中心に約4万3000人と、来場者全体の2割強を占めています。

子どもたちは国立アイヌ民族博物館でことばや文化、歴史を学び、国立民族共生公園で伝統芸能鑑賞や食体験、ムックリ演奏体験など多彩なプログラムを通じて、アイヌ文化を五感で体験しています。令和3年度に入場予定の学校団体予約の受け付けは、12月14日から開始しました。詳細はウポポイウェブサイトの当該ページ(<https://ainu-upopoy.jp/education/reserve/>)へ。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みとして、入場日の予約制(日付指定)を導入しております。国立アイヌ民族博物館の展示室の観覧を希望する方は、別途、オンラインによる入館日時の予約が必要です。詳細はウポポイウェブサイト(<https://ainu-upopoy.jp>)をご確認ください。



修学旅行生でにぎわうウポポイ



充実を図っている各種体験プログラム



国内誘客部

今号の
トピックス

国内最大級の旅の祭典

HOKKAIDO LOVE!

ツーリズムEXPOジャパン 東京ビックサイトで開催!

国内最大の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」が、東京ビックサイトを会場に令和3年1月7日～9日の期間で開催されます。

当機構では、「食と観光」をキーワードとして、JR北海道と共同出展します。北海道ブースには、約40の地域・団体が出展し、道内の各観光地が主役となって旅前の情報発信を行います。

本年度の、ツーリズムEXPOジャパンは「私の旅は、次のステージへ。」をテーマに3日間の期間中、業界向けのTEJ東京商談会と一般向けのトラベルフェスタが開催されます。TEJ東京商談会では出展する各地域・団体が、国内外の旅行会社・メディアと事前にアポイントメントを取り、約2日間、最大24セッションの商談が可能となります。マッチングシステムでの登録により効率的な商談会を開催することができます。一般向けのトラベルフェスタでは、地域・団体が一丸となりチーム北海道として、北海道の新しい旅のスタイルをPRしてきます。また、首都圏メディア向けの情報発信として「北海道ブロック記者発表会」も併せて開催します。



昨年度のツーリズムEXPO 北海道ブース外

日時 令和3年1月7日(木)～9日(土)

※商談日 7日～8日、一般日 8日～9日

※北海道ブロック記者発表会 9日

場所 東京ビックサイト西展示棟

主催 公益社団法人 日本観光振興協会

一般社団法人 日本旅行業協会

日本政府観光局



担当
伴

今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
ツーリズムEXPOジャパン2020 TEJ東京商談会	●1月7日～8日 会場:東京ビックサイト西展示棟		
ツーリズムEXPOジャパン2020 トラベルフェスタ	●1月8日～9日 会場:東京ビックサイト西展示棟		
北海道ブロック記者発表会	●1月9日 会場:東京ビックサイト西展示棟		
神戸空港開港15周年記念イベント		●2月20日～21日 会場:神戸ハーバーランドumie	
第55回ジャパンゴルフフェア2021			●3月12日(金)～14日(日) 会場:パシフィコ横浜 展示ホール

海外誘客部

今号の
トピックス

タイ・シンガポール市場向け デジタルメディアを活用した情報発信事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外国人観光客が来道できない状況が続いているが、収束後の海外旅行先に『北海道』が最優先で選択されるよう、北海道の情報を継続的に発信するためにデジタルプロモーションを実施します。

当事業では、東南アジアでも特に北海道リピーターが多いシンガポール市場と来道シェアが高いタイ市場のミレニアル世代を対象に動画プロモーションを実施するものです。

海外誘客部で実施している「SNSを活用した北海道観光情報発信事業」等と連携し、より効果的に発信できるよう努めます。

北海道の雄大な自然、豊かな食、多彩な体験の3つのコンテンツを、各市場にあった切り口で発信することで来道意欲を高め、新型コロナウイルス感染症収束後の来道促進に繋げていきます。

実施概要

- 事業開始日: 11月26日~
- 対象国: タイ・シンガポール
- 主な内容
 - (1) 食・アクティビティー・絶景の3コンテンツの動画発信
 - (2) 動画を活用したデジタルプロモーション
 - (3) ユーザー参加型キャンペーンの実施



水平線(別海町)



四角い太陽(別海町)

担当
人羅



今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
デジタルメディア情報発信 (東南アジア:タイ・シンガポール)	<ul style="list-style-type: none"> ●1月中旬 動画公開(Youtube掲載等)・メディア記事配信 ●1月下旬 インフルエンサー投稿 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月中旬 動画公開(Youtube掲載等)・メディア記事配信 ●2月下旬 インフルエンサー投稿 	
デジタルメディア情報発信 (中国)	<ul style="list-style-type: none"> ●1月上旬 記事投稿、ショート動画配信、ライブ配信 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月中旬 記事投稿、ショート動画配信、ライブ配信 ●2月下旬 記事投稿 	
デジタルメディア情報発信 (欧州:イギリス・フランス)		<ul style="list-style-type: none"> ●2月上旬 動画公開(Youtube掲載等)・海外オンラインメディア・雑誌等での情報発信 	
北海道オンライン旅行博 (台湾・香港)	<ul style="list-style-type: none"> (12月中旬 特集サイト掲載開始) ●1月上旬 写真投稿キャンペーン ●1月30日・31日 ライブ配信 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月中旬 YouTube動画掲載 	

地域観光部

今号の
トピックス

道内6空港周辺の観光素材の発掘・ 磨き上げのため、関係団体と連携し地域を視察

道内7空港の一括運営(民営化)により、空港周辺での戦略的な地域活性化の魅力発信を行うため、当機構と北海道エアポート、航空会社、廣告代理店が連携し、今年度採択された事業の担当者や関係者を訪問するとともに、各地域が現在、取り組んでいる新たな観光開発のプログラムを実際に体験し、事業の課題や改善点を話し合うなど、今後の取組に繋げるための意見交換を実施しました。

多くの地域では、アドベンチャートラベルの受入誘致を目的とした体験メニューの開発が盛んに行われており、それぞれの視点での的確なアドバイスがなされ、今後の進め方について方向性を示唆することに加え、連携の具体的な検討も行われました。

9月の釧路空港エリアを皮切りに、10月には女満別空港、函館空港、旭川空港エリアで順次実施しており、引き続き、冬季には帯広空港、稚内空港エリアにおいても同様の視察事業を行います。

訪問先

釧路空港エリア:釧路市、弟子屈町、美幌町、鶴居村
女満別空港エリア:北見市、網走市、斜里町



函館空港エリア:函館市、七飯町、鹿部町

旭川空港エリア:旭川市、幌加内町、美深町

訪問予定先

帯広空港エリア:帯広市、芽室町

稚内空港エリア:稚内市、豊富町、幌延町



今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
「やさしい日本語」を活用した おもてなしセミナー	●1/13 場所:札幌		
食のユニバーサル おもてなしのスマセミナー ベジタリアン&ムスリム		●2/上旬 場所:登別・白老(予定)	

広域観光部

今号の
トピックス

空知地域の魅力を発信 「香港メディアを招請！！」

当機構では、訪日外国人旅行者の周遊促進を図るため、観光庁の訪日外国人観光促進事業費を活用し「新たな地域の魅力を創出するインバウンド推進開発事業」を7地域(宗谷・上川きた・上川ひがし・空知・石狩・オホーツク・釧路根室)で実施しております。

空知地域事業では、札幌市内に滞在している外国人旅行者を主なターゲットに、札幌圏から一步足を延ばした周遊促進を図るべく、空知地域における着地型商品の磨き上げ、ウェブ等を通じた地域観光資源の発信や旅行商品の造成を行うなどの取り組みを行っています。

10月、事業の取り組みの一つとして二次交通と魅力的なコンテンツの情報発信を図るため、香港メディアのライター兼カメラマン2社(※日本在住)を招請し、タクシー観光プランを体験してもらい、外国人目線に立って二次交通を含めて空知の魅力を視察いただきました。

参加メディアから「空知地方は観光コンテンツが点在しており、個人で行く場合は公共交通機関での移動が難しいため、タクシー観光プランはFITに対して有効」と好評を得てたほか、タクシー観光プランや視察先のコンテンツを、現地香港にて雑誌特集のほか、Web媒体を通じて幅広く情報発信し、



「空知地域の観光資源を活用したインバウンド誘致推進事業」
上 岩見沢市:こぶ志陶苑こぶ志窯(陶芸体験)
下 長沼町:菓子匠 森下松風庵(和菓子作り体験)

アフターコロナの旅行先として外国人観光客の集客に繋げます。



担当
小室

今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
新たな地域の魅力を創出する インバウンド推進開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ●上川きた地域:オーストラリアをターゲットとする冬の招請ツアー(1月18日～22日) ●空知地域:Webプロモーション(オンラインセールス) ●宗谷地域:FAMによる地域観光資源の磨き上げと情報発信(下旬) ●釧路地域:各観光施設へのUni-Voice QRコード設置 ●オホーツク地域:ベトナムをターゲットとする招請ツアー ●石狩地域:アジア/欧米豪 FAM TRIP(下旬) ●外国人旅行者向けサイトを活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●空知地域:台湾をターゲットとする冬のFAM TRIP(上旬) 	
活用可能なFIT向け 二次交通情報の整理と仕組化事業			
●地方版MaaS実証実験(旭川エリア)			

アドベンチャートラベル推進本部

今号の
トピックス

ATWS公式エクスカーション、最終審査へ 海外との商談目指しAT商品造成も推進

AT推進本部では、2021年9月に北海道で開催予定のATWS2021に向けた準備を行なっています。

ATWS2021北海道実行委員会の事業としては、大会公式エクスカーションのPSA(大会直前の複数日のツアー)およびDOA(大会初日の日帰りツアーア)を公募、道内ツアーオペレーターからの応募・審査を経て10月にPSA15コース、DOA32コースを選定しました。今後は英文資料を大会主催者のATTAへ提出し、審査の後2021年2月頃に正式決定となる見込みです。

PSAは道外コースの設定も必要とされ、東北、甲信越、中部、四国、九州、沖縄より参加表明をいただき、各地のコース選定が大詰めを迎えていきます。

これらの準備と並行し、ATWS開催後の商品販売先拡大を見据え、国内各地域を巻き込んだ事業も展開しています。中小企業を対象とした共同・協業販路開拓支援補助金を活用し、北海道を含めた国内の旅行事業者がAT商品を造成するほか、地域間連携による長期コースも開発、2021年2月にオンラインで実施予定の欧米豪事業者との商談に臨みます。

この他にも、AT用プロモーション動画の作



成、道内のアクティビティガイド・スルーガイド等を対象にした研修会の開催を予定しています。

担当 岩田 菊地 上田



今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
ATWS2021 PSA・DOA造成	●ATTAおよび関係者による審査 →	●ATTAからのフィードバック・改善点の修正 →	●コース登録・ATWS公式サイトにて販売開始
共同・協業販路開拓支援事業 欧米豪事業者との商談会	●AT商品の改善点修正 ●地域間連携商品造成 →	●2月18日(予定) オンライン商談会	

マーケティング部

今号の
トピックス

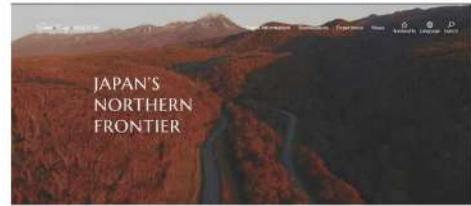
「GoodDay北海道」英語・繁体字サイト 11月30日リニューアルオープン

当機構では、withコロナ、afterコロナのインバウンド需要の回復を見据えた情報発信の強化を図るため、英語及び繁体字のウェブサイトを11月30日にリニューアルオープンいたしました。

今回のリニューアルでは、北海道の魅力を外国人目線で分かりやすく伝えるため、外国人アドバイザーを採用。サイトコンセプトや掲載コンテンツの選定、ライティングを外国人目線で実施したほか、「旅マエ・旅ナカ・旅アト」のあらゆるシーンでの利用を想定し、スマートフォンによる閲覧を最優先にデザインやサイトを設計。SNSのシェアボタン、マイクリップ機能を搭載し、旅の思い出や興味喚起した情報の発信強化を図りました。

また、北海道の人気スポットや観光名所はもちろんのこと、道内7空港を起点とした周辺の観光情報の強化、個人旅行や旅行スタイルの変化に伴い、食とアドベンチャーツーリズムを中心に関心・趣味・趣向性を切り口とした北海道の魅力の発信など、北海道の充実した旅のイメージを訴求しています。

コロナ禍における継続的な情報発信を実施し、旅行者の「行きたい気持ち」を次の旅行者へ



Highlights



Experience
Fukidashi Akita Hachimantai



Discover
Komo-Tanakamachi Mountain



Destination
Fukidashi & Fushimi Shokuhin

英語サイト

「つなぐ」。そんな、インバウンド需要の回復を見据えた、ディスティネーションとしての魅力を伝えるウェブサイトを目指してまいります。

英語サイト：<https://en.visit-hokkaido.jp/>

繁体字サイト：<https://tw.visit-hokkaido.jp/>

担当 阿部 林



今後のスケジュール>>>

実施内容	1月	2月	3月
北海道観光統計データサイト	●公開		
ミレニアル世代調査 (英語圏・中国圏)	●仮説検証	●調査報告	

10月には総数で対前年比54.9%まで回復

令和2(2020)年8月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R2年8月	552,775	430,365	28,400	94,010
H31年8月	1,530,883	1,267,952	104,100	158,831
対前年比	36.1%	33.9%	27.3%	59.2%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R2年 8月	345,118	25,656	18,169	3,273	2,012	10,429	11,699	12,658	1,351
H31年 8月	989,884	77,551	61,938	11,013	6,835	37,848	37,374	41,482	4,027
対前年比	34.9%	33.1%	29.3%	29.7%	29.4%	27.6%	31.3%	30.5%	33.5%

(2020年9月北海道観光振興機構調べ)

本来であれば最も来道者数の多い月が8月ですが、来道者数は、新型コロナウイルスの影響により、総数で対前年比36.1%にとどまりました。

令和2(2020)年9月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R2年9月	587,472	471,193	42,500	73,779
H31年9月	1,343,123	1,159,813	93,700	89,610
対前年比	43.7%	40.6%	45.4%	82.3%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R2年 9月	381,385	31,443	18,958	554	71	11,371	10,893	14,811	1,707
H31年 9月	916,513	76,047	53,180	9,843	5,377	32,920	29,060	33,297	3,576
対前年比	41.6%	41.3%	35.6%	5.6%	1.3%	34.5%	37.5%	44.5%	47.7%

(2020年10月北海道観光振興機構調べ)

9月の来道者数は、総数で対前年比43.7%となりました。GoToトラベル・どうみん割等の施策により、3月以降落ち込んでいた来道者数が徐々に戻ってきました。

令和2(2020)年10月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R2年10月	646,377	530,766	47,800	67,811
H31年10月	1,176,985	1,036,934	71,000	69,051
対前年比	54.9%	51.2%	67.3%	98.2%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R2年 10月	446,673	25,493	19,742	0	0	13,662	11,519	13,677	0
H31年 10月	827,547	67,782	47,177	5,386	4,323	29,904	25,617	25,114	4,084
対前年比	54.0%	37.6%	41.8%	0.0%	0.0%	45.7%	45.0%	54.5%	0.0%

(2020年11月北海道観光振興機構調べ)

10月の来道者数は、総数で対前年比54.9%と50%を超えるまでに回復しましたが、新型コロナウイルス再拡大の兆しがあることから今後については予断を許さない状況が続きそうです。

道内への直接入国者数については、新型コロナウイルス感染症による入国規制により、今号については、掲載を見送させていただきます

○参考 2020年9月における、「全国」の訪日外客総数は18,861人。2020/8の15,882人よりも微増。

JNTOによる2020年9月の訪日外客数 速報値も27,400人と13か月連続前年同月比を下回っているものの、7か月ぶりに2万人を超えた。

※前月の8月推計値は13,700人

北海道観光PRキャラクター
**キュンちゃんの
小部屋**

**キュンちゃんが
北海道の情報を届け
LINE公式アカウント誕生!!**

キュンちゃんが北海道の情報を紹介するLINEが誕生♪北海道の魅力をみんなにお届けするのです♪お友達募集中!みんなも登録してね♪



北海道観光振興機構とは

北海道における観光の振興と地域活性化を目的として、様々な社会環境の変化に対応し、国内外への観光客誘致や地域の基盤整備、連携促進などを行なう組織です。

基本理念

道民と一緒に、観光を北海道のリーディング産業に導き、観光で地域を活性化します。

行動指針

北海道の地域と産業を牽引する観光の中核組織としての役割を果たします。

事業概要

5つの事業機能をもつ組織です。

1 北海道観光戦略の推進機能

- ・北海道観光戦略の企画推進
- ・観光に関する提言・要望活動
- ・北海道さっぽろ食と観光情報館受託
- ・各種セミナーの開催

2 コーディネート機能

- ・国・道および地域間調整
- ・他事業との連携

3 マーケティング機能

- ・マーケティング調査
- ・来道者調査

4 地域支援機能

- ・観光づくり、地域観光商品の開発支援
- ・アイヌ部会の運営
- ・地域分科会の運営
- ・地域支援部会の運営
- ・人材育成研修
- ・「おもてなしタクシー」の事務局
- ・訪日外国人旅行者周遊促進事業
- ・DMOの推進

5 プロモーション推進機能

- ・国内観光プロモーション
- ・諸客部会の運営
- ・首都圏記者発表会
- ・海外観光プロモーション
- ・新千歳空港観光案内所



ますます充実! 北海道の観光案内所



JR札幌駅内の「北海道さっぽろ「食と観光」情報館」内にあり、JR総合案内所が併設。専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語にて旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供いたします。観光機構作成パンフレット及び会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所 / 札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口
北海道さっぽろ「食と観光」情報館内
営業時間 / 8:30~20:00 定休日 / 年中無休
問合せ / 電話011-213-5088

会員募集中! 入会申込みの詳細は、こちらにお問合せください
GoodDay北海道ウェブサイト内
「北海道観光振興機構について」
<http://www.visit-hokkaido.jp/company/>
北海道観光振興機構 総務部(受付 / 月~金 9:00~17:30)
TEL.011-231-0941

認定タクシー乗務員が観光ガイド!
札幌近郊をちょっと観光するなら

**夢大地北海道
ガイドタクシー**

観光知識と接客マナーの認定試験合格者が、運転と観光ガイドをしてくれる観光タクシー。だから、安心・安全!



1時間ごとの料金(フリープラン)

普通車(定員4名) 大型車(定員4名) 特定大型車(定員9名)

6,200円 10,020円 10,800円

●価格は税込です。●身体障がい者手帳・療育手帳の提示で、10%引き。●入場料・道路通行料・駐車場料・飲食料等は、別途ご負担いただきます。

認定タクシー乗務員を紹介します

北海道観光おもてなしタクシー
乗務員認定機構 事務局

011-231-2323

受付時間／平日(土・日・祝除く)9:00~17:00
<http://yumedaiichi.visit-hokkaido.jp/>

JR有楽町駅前(東京)
どさんこ旅サロン

対応言語 / 日本語



「どさんこ旅サロン」は、東京・JR有楽町駅前のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ」がある東京交通会館の3階に入っています。道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、案内カウンターでは、スタッフによる観光・イベント情報のご案内やご旅行相談も承っております。

住所 / 東京都千代田区有楽町2丁目10-1 東京交通会館3階
営業時間 / 11:00~19:00
定休日 / 土・日・祝、年末年始、施設の全館休業日
問合せ / 電話03-6206-3163

Good Day 北海道

北海道観光公式サイト <http://www.visit-hokkaido.jp/>

北海道観光振興機構広報誌 HTO press vol.28(令和2年12月21日発行)
HTO [発行]公益社団法人 北海道観光振興機構
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル1F
TEL.011-231-0941 FAX.011-232-5064